

都市整備

再び、市長の考える具体的なまちづくりビジョンは

島村速雄議員(政和) ①NTT花小金井東社跡地の面積と時価は、また事業者の誘致を含め、取得する意向はあるか。

②市民参加の観点から、跡地利用に対する市のリーダーシップと調整のとり方は。

③財団法人民間都市開発推進機構の所有地や丸井グラウンド等その後の変化と対応は。

市長 ①面積は約6万2千5百平方メートル、時価は把握できないが、平成17年相続税路線価で計算すると約百22億円となる。全面的な取得や事業者の誘致は困難と考える。

②近隣住民へ情報を提供し、提案等を取りまとめたい。

③具体的な計画は把握していない。大規模な土地利用の転換への対応については周辺住民の意見を聞き、市の考え方を踏まえて地権者や開発事業者と協議をし、開発が適正に行われるよう対応すべきものと考えている。

NTT花小金井東社跡地の跡地に対する市のかかりを問う

津本裕子議員(公明) ①売却及び跡地利用に関する現状は。

②跡地利用に関して、小平市開発事業における手続及び基準等に関する条例が果たす役割は。

③緑の保全や安全なまちづくりなど、近隣住民の要望を生かすためには市のかかりが重要と考えるが認識は。

市長 ①平成18年中に跡地の利用・活用方針を決定するため、現在、財産評価、開発条件等を

調査中と聞いている。

②地域の意向に沿った開発にすることと考える。

③土地利用が未定の現段階から積極的に働きかけることが重要と考える。近隣住民の意見・要望を聞き、NTTや開発事業者に要望していく。

小平都市計画道路3・4・6号線の計画について

原 邦彦議員(公明) ①今後の整備方針は。

②都市計画道路の整備とともに、小平駅北口の再開発も発生して行くと思うが、現時点で考える手法は。

③地権者への説明も含めた地域説明会の予定は。

市長 ①東久留米市の都市計画道路と連携して整備することで、小平駅という交通結節点を含めた街路のネットワークを形成することや、駅前広場を中心とした周囲のまちづくりを図ることが基本的な整備方針である。

②当地区の整備手法には市街地再開発事業と街路事業が考えられるが、いずれの手法も一長一短があるため周囲の動向と照らし合わせながら検討していきたい。

③まだ説明会を行う時期ではないと考えるが、今後地権者の意向を聞く場を設けたい。

人口減少時代を見据えたまちづくりへ

苗村洋子議員(緑ネ) ①旧アサクラグラウンドの開発状況と市の考えは。

②開発途中で計画変更された場合に、市がチェックできる仕組みが必要と考えるがどうか。

③このまま開発が進めば住宅の過剰供給が予測されるが、その対策は。

市長 ①敷地を分割して都の開発審査基準に適合させた残念な開発行為と受けとめている。地元の要望である幅員5メートルの生活道路は確保した。その後事業主体がかわり、引き続きだ事業者が現在工事を進めている。

②開発完了後に区画割りの変更が行われても現行法令では指導できないので、住環境の保全のために地区計画等の働きかけを進める。



旧アサクラグラウンドの宅地開発(花小金井五丁目)

府中街道と西武拝島線の踏切

宮崎照夫議員(政和) ①国分寺駅からのバス路線についての検討状況は。

②新小金井街道は、東西主要道路との交差点の信号表示時間が短く渋滞を来しているが、都に改善を要請しているか。

③新小金井街道と交差する青梅街道や東京街道の右折レーンには矢印信号がないため、右折車が渋滞している。改善策は。

市長 ①国分寺駅から昭和病院を経由して、都営大沼町一丁目アパートに向かうルートを生立川バスが検討しており、都営住宅内の駐車場についてはほぼ了承が得られた。

②交通の円滑化を要望しており、交通管理者は都の交通量調査等をもとに信号の表示時間を長くする措置を講じたが、現在も信号表示時間等を調整中と聞いている。

③既に警視庁に矢印信号の設置を要請したと、小平警察署から聞いている。

公共交通網づくりを進める市民活動に積極的な支援を

佐藤 充議員(共産) ①総合的な交通体系のあり方懇談会の報告書を受けて、今後どのように計画策定を進めるのか。

②地域住民の活動をどのように支援するのか。

③大沼地域が進められている乗り合いタクシー運行に対する市の役割は。

市長 ①基本的な方針等の検討を進めており、秋には決定したい。今後市民からさらに意見をもらい、成案にする段取りを進めていく。

②地域の交通を確保していくには地域が支えるという形が大切なので、できる範囲で支援していきたい。

③現在基本的な方針を検討している段階だが、課題となる点については住民及びタクシー事業者とともに検討し、調整していきたい。

新小金井街道開通に伴う課題について

小林秀雄議員(フオ) ①電線の中核化に伴い、大きい街路樹は植えられないと聞いている。現在、正面北口に山桜が植えられているが、これをしだれ桜に

▲東部市民センターの屋上緑化

植えかえることはできないか。

②東部市民センターの屋上緑化を四季折々に変更できないか。

市長 ①歴史を標榜する山桜を植栽し、桜による町の成り立ちや、花見のにぎわいの歴史を記憶として風景に刻むことを目的としているので、山桜を守り育てていきたい。

②整備方針を決定していく中で合わせて検討していく。

③鷹の台駅についてはまず駅構内の改修案の検討を進めていく。一橋学園駅と青梅街道駅の段差はスロープ化により解消しているが、トイレについては基準に達していないので協議をしていく。

鷹の台駅のバリアフリー化を地下方式で行いたい

桜田 誠議員(公明) ①鷹の台駅のバリアフリー化の請願が2年前に採択されたが、西武鉄道との交渉経過は。

②中央公園と改札を結ぶ地下通路に改札を設置する方式は、駅の橋上化と比べて経費も少ないと思うが市の考えは。

市長 ①橋上駅とセットで考える西武鉄道と、当面駅構内のバリアフリー化を望む市とは意見が大きく隔たっていたが、平成17年12月に西武鉄道側から橋上駅との同時施工にこだわらない考え方が提案された。現在は、改修費用を抑え早期にバリアフリー化を図る改修案の検討を行っている。

②都は新たに合葬式墓地を設置することから、建て増し等は検討していないと聞いている。

③小平霊園では検討はしていないが、新しい墓地については検討しているという。

東京都薬用植物園は地域と一体となって活用・存続を

立花隆一議員(公明) ①周辺自治体とのネットワークづくりや、協議会設立に向けた動きは。

②住民等から寄せられている意見と、その吸い上げ方は。

市長 ①都に対し、市や周辺住民の意向を反映して指導を行うよう要請していく。

②事務所は低層住宅の良好な住居環境を保護するために建築できない規制があるが、都の多摩建築指導事務所が許可した場合合は可能となる。建築許可に当たり市の意向を照会された場合は、指針に基づき回答していく。

花小金井駅北口の緑化について

木村まゆみ議員(共産) ①新たに合葬式墓地をつくることはできないか。

②墓地を二、三階建てにするなどし、埋葬する遺骨を倍増できないか。

③この提案については、地域資源を活用した貴重なものと受けとめたい。

市長 ①都の動向によっては立川市、東大和市及び周辺住民と協議する等連携を考えていく。

②現状の緑を保全してほしい、市報等で情報提供してほしい等の声がある。今後もこまめ懇談会で市民の意見を聞いていく。

③この提案については、地域資源を活用した貴重なものと受けとめたい。

住宅地における墓地造営についての考え方は

常松大介議員(緑ネ) ①市が策定した墓地造営に関する指針を無視して墓地建設計画を続行している宗教法人があるが、その対策は。

②第一種低層住居専用地域に管理事務所の建設は認められるのか。市の見解は。

市長 ①都に対し、市や周辺住民の意向を反映して指導を行うよう要請していく。

②事務所は低層住宅の良好な住居環境を保護するために建築できない規制があるが、都の多摩建築指導事務所が許可した場合合は可能となる。建築許可に当たり市の意向を照会された場合は、指針に基づき回答していく。

東京都薬用植物園(中島町)

③小平・村山・大和衛生組合から出る余熱を利用した健康増進施設をつくるように提案できないか。

市長 ①都の動向によっては立川市、東大和市及び周辺住民と協議する等連携を考えていく。

②現状の緑を保全してほしい、市報等で情報提供してほしい等の声がある。今後もこまめ懇談会で市民の意見を聞いていく。

③この提案については、地域資源を活用した貴重なものと受けとめたい。

議会を傍聴しませんか

本会議と委員会はだれでも傍聴することができます。議場の傍聴席は60席で、会議当日の午前8時30分から市役所7階の議会事務局で傍聴の受け付けをしています。

定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催しており、開会時刻は通常午前9時です。委員会の傍聴席は30席で、傍聴手続は本会議の場合と同じです。会議の日程等詳しいことは議会事務局までお問い合わせください。(☎042-346-9566)

お知らせ

市議会だよりは、新聞折り込みと市の施設、市内の各駅・郵便局・JAなどで配布するほか、新聞未購読者には個別に郵送も行っていきます。なお、小平市ホームページにも掲載しています。

また、目の不自由な方には「カセット市議会だより」を発行しています。ご希望の方は議会事務局までお申し込みください。